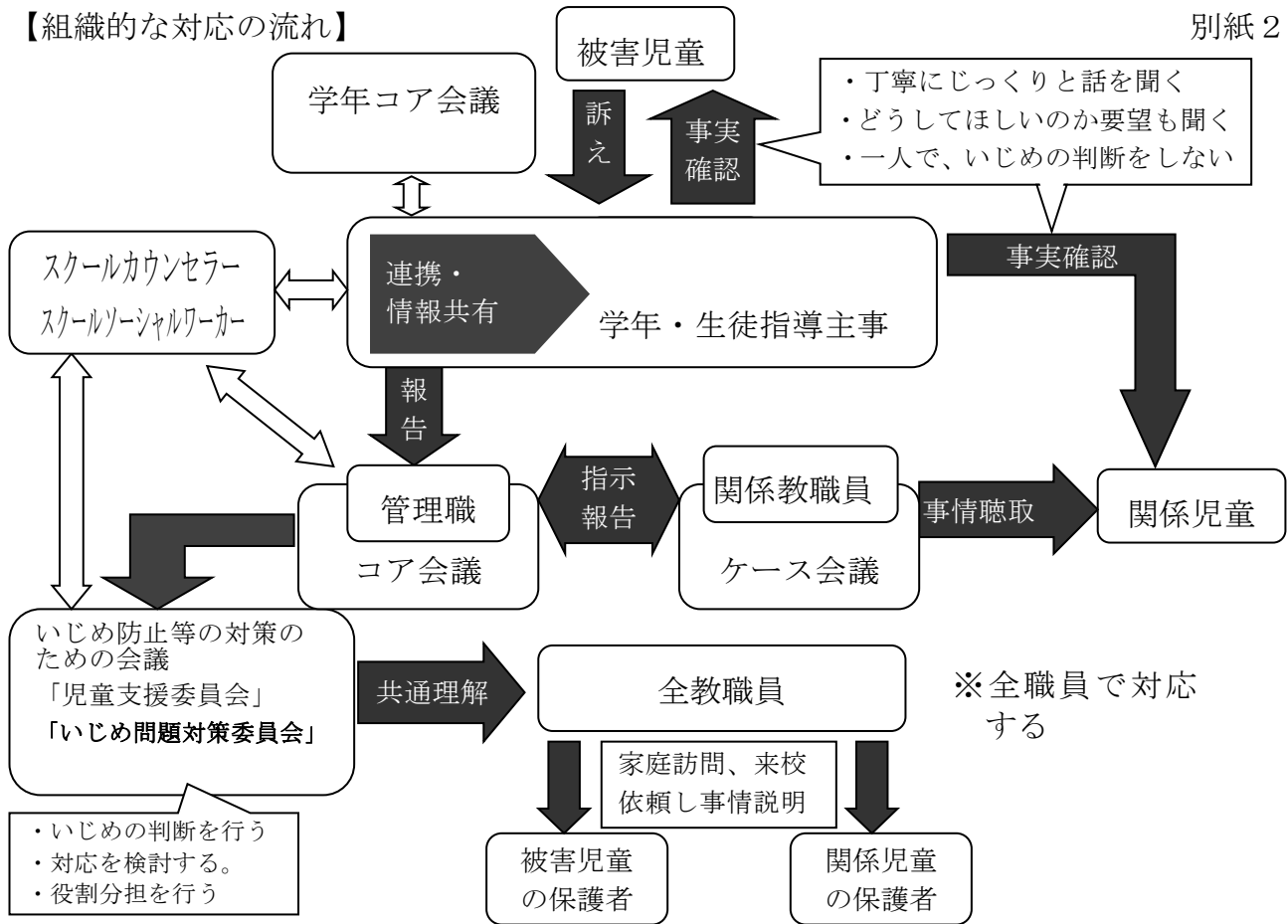


いじめ防止等に関する年間計画				
	学校	児童生徒	保護者	地域・その他
4月	校内研修			PTA・学校評議員
5月		個人懇談		地域教育協議会
6月		心と体のアンケート		
7月		学級懇談		
	学期末集計、検証、指導			
8月	校内研修			学校公開
9月				
10月		心と体のアンケート		
11月		学校教育自己診断		
		個人懇談		
12月	学期末集計、検証、指導			PTA・学校評議員
1月		心と体のアンケート		
2月	学年末集計、検証、指導	学級懇談		
3月	年度末点検・検証			地域教育協議会 PTA・学校評議員

※週1回コア会議で児童の情報を収集・共有・振り分け

【組織的な対応の流れ】

別紙 2



【留意事項】 *大阪府教育委員会「いじめ対応マニュアル」(平成24年12月参照)

「いじめ対応プログラムI」(平成19年6月参照)

○いじめを訴えてきた児童・生徒への対応

- ・子どもの心身の状態等に配慮し、子どもの立場に立って思いを十分に聞き取る。
- ・いつ、どこで、誰に、何をされたか、事実を整理しつつ丁寧に聞き取る。
- ・聞き取りをする場所も含め、話しやすい雰囲気づくりに配慮する。
- ・結論を誘導したりせず、本人の言葉が出るまでじっくり待ち、本人の要望を十分に聞く。
- ・担任一人で、いじめかどうか判断をしない。

○いじめたと訴えられた関係児童・生徒への対応

- ・いじめたと決め付けて話を聞くことがないように気をつける。
- ・事実関係の正確な把握や、学校から関係者への説明を適切に行うために、記録を取る。
- ・それぞれの児童から、個別に話を聞き、事実関係のつきあわせを行ないながら全体像をつかむ。
- ・目撃した児童・生徒がいた場合、その児童・生徒からも状況を聞く。
- ・携帯電話等情報機器を使用したいじめの場合、その情報がどういう経路でどの程度広がっているのかを確認する。

○いじめの防止等の対策のための組織(仮称)

- ・事実関係から、いじめの事態について判断する。
- ・いじめの事実のあるなしに関わらず、訴えた児童を支援する対応策を考える。
- ・できる限り具体的な支援策や対応策を立て、担任一人に任せることなく、全教職員で対応できるよう詳細な役割分担を行う。(誰が、いつ、どこで、何をするのか)
- ・保護者への説明方法、説明内容等も具体的に検討する。(複数対応、電話では済ませない。)
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・弁護士等との連携や緊急・重篤な事案に対しては、「警察等関係諸機関との連携」、「保護者・地域の状況説明」、「報道機関等への情報提供」など相談・協議する。

子どもの発するサインに敏感になるために 2022年度版

いじめチェックシート記入年月日【20 年 月 日】【 】年【 】組 記入者【 】

① 子どもからのサイン

子どもたちの出すサインに気づき、その背景を理解しようとする姿勢が、いじめの防止、早期発見につながります。

授業に意欲をなくし、集中力がない児童がいる。	
休み時間や放課後、一人でいることが多い児童がいる。	
休み時間や放課後、用もなく頻繁に保健室に行く子がいる。	
教育相談、日記、班ノートなどに不安や悩みを書いている子がいる。	
いつもおどおどしている子がいる。	
理由なく欠席、遅刻、早退が増えている子がいる。	
理由のはっきりしない打撲や傷跡のある子がいる。	
衣服が乱れたり、汚れていたり、破れたりしている子がいる。	
元気なく、気持ちの落ち込んでいる子がいる。	
教員を避ける子がいる。	
グループから急に離れたり、交友関係が変化したりしている子がいる。	
常に人の言いなりになっている子がいる。	
一人離れて教室に入ってくる子がいる。	
椅子や机を乱されている子がいる。	
みんながやりたがらない仕事を常にしている子がいる。	
忘れ物が多くなったり、成績が急に下がりだした子がいる。	

② 学級集団からのサイン

いじめは日常多くの時間を過ごす集団の中で生じます。その集団の状況を見続けることで、いじめに発展する前に、その兆候に気づくことがあります。

休み時間などに固定した少人数のグループに分かれている。	
学級の子どもたちが特定の子どもの失敗や規則違反に敏感に反応する。	
給食時などの子どもたちの会話に、度を過ぎたふざけや、からかうような笑いが頻繁にみられる。	
授業中、特定の子が発言したら理由もなく笑われることがよくある。	
ニックネームやあだ名が偏って使用されている。	
子ども同士の会話で、言葉がきつくなる。	
まじめに取り組むことを冷やかすような雰囲気生まれている。	
学校のルールなどを守らない雰囲気ができている。	
係や当番決めの際に一方向的に決めてしまう雰囲気がある。	

◎当てはまる項目があっても、必ずいじめがあるとは限りません。しかし、これらのチェックポイントに留意して集団作りを進めることで、いじめに至る前に防止することができます。思いやりのある子ども同士の関係のなりたった学級集団づくりをすることが、未然防止につながります。

◎これらのサインはいじめ以外の問題に当てはまることもあります。

上記以外の気になる点をご記入ください。

枠に収まらなければ、目印をつけて裏面にご記入ください。